

## 医療セミナー「歯科医療の基礎知識」

弁護士 小山美穂

平成30年2月16日（金）、一般社団法人日本損害保険協会医研センター主催の医療セミナーに参加して参りました。

同セミナーでは、東京医科歯科大学歯学部附属病院回復系診療科インプラント外来所属・歯学博士立川敬子（たちかわのりこ）博士による「歯科医療の基礎知識」と題する講義が行われました。

本講義では、まず、「口腔の仕組みと働き」として、基本的な口腔内の組織や部位を表す用語や顎顔面領域の重要な血管、知覚神経等の説明がありました。

次に、「歯科領域の疾患」として齲蝕（うしょく。一般に「虫歯」と呼ばれている）、歯髄（しずい。「神経」と呼ばれている）、歯周疾患、歯の欠損などについて、その進行度による分類の仕方や具体的な状態等の説明がなされました。

「歯科における基本診察法」の講義では、3種類（①デジタルX線写真②パノラマX写真③小照射野（コーンビーム）CT撮影）について、例えば、①は高精彩で歯の状態がみられ、②は、顎骨の展開像を得るための撮影法で、上顎洞（上顎の上の空洞）の状態や顎関節症などが診られる。③は最近用いられるようになった撮影方法で顎骨の小範囲を撮影することが可能であることなど、各撮影方法による撮影範囲や得られる画像、診察目的について説明がありました。その他、咬合診査、歯髄疾患や歯周組織診査の方法が紹介されました。

「歯科疾患の治療法」では、歯科で用いられる器具の説明、また、齲蝕・硬組織疾患、歯髄・根尖性歯周病疾患の治療法に関して、症状の進度に合わせた治療方法の説明がありました。歯の欠損に対する治療法に関しては、ブリッジ・可撤性義歯（入歯）・インプラントによる治療の長所・短所、必要な診療回数や治療期間について説明がありました。インプラント治療については、インプラント治療におけるトラブルや手術において注意すべき合併症等も紹介されました。

「顎顔面領域の損傷」については、歯の外傷、骨折、軟組織の損傷の説明とともに実際の症例が紹介されました。「小児の顎顔面外傷」に関しては、乳歯及び根未完成歯の外傷や骨折による影響、問題点などの説明がありました。

今回のセミナーに参加し、歯科医療における基本的な用語や診断方法・治療方法等を学ぶことで、診断書やカルテに記載される用語の理解が深まりました。また、具体的な治療の内容や必要とされる治療期間をイメージしやすくなり、勉強になりました。今後の交通事故事案等の対応において、活用していきたいと思えます。

以上